

2022 年 1 月 吉日

透析療法を受けている皆さまにお願い

透析療法は、2019 年末で約 34.4 万人の末期腎不全患者さんに施行され、延命と社会復帰に大きく貢献しています。しかし、透析療法は重篤な医療事故や同時多発性の医療事故を引き起こす危険性を有します。

透析に関連する医療事故の全国調査は、これまで、2000 年、2002 年、2013 年に施行され、重篤な事故（死亡につながる、入院あるいは入院期間の延長を要する、2 名以上の患者に同時発症する事故）の発生は、それぞれ 100 万透析当たり 31 件、40.4 件、32.4 件報告されてきました。

この調査は、各透析施設で 2021 年に発生した透析医療事故と医療安全体制に関する調査で、医療事故に関係した患者さんの年代、事故の内容や程度、発生時間帯、事故の原因、対策が収集されます。この調査の結果は日本透析医会において管理し、解析することにより、今後の医療事故防止の重要な基礎資料となることが期待されます。

当調査は、国の倫理指針に則り、無記名で報告・集計されますので、集められたデータから皆様の個人情報を再現（特定）することは不可能ですご安心下さい。この調査については、日本透析医会の倫理審査委員会においても承認されています。

日本透析医会は、皆様の個人情報・プライバシーの保護には十分配慮しつつ、透析医療の質を向上させるために引き続き努力を続けてまいりますので、今回の調査につきましてご理解ご協力くださいますようお願い申し上げます。

公益社団法人 日本透析医会

会 長 秋澤 忠男

医療安全対策委員会医療事故対策部会

委員長 安藤 亮一

一般社団法人 日本透析医学会

理事長 武本 佳昭

【本調査に関する照会先】

公益社団法人日本透析医会 事務局

〒101-0041 東京都千代田区神田須田町 1-15-2 淡路建物ビル 2F

TEL : 03-3255-6471

FAX : 03-3255-6474